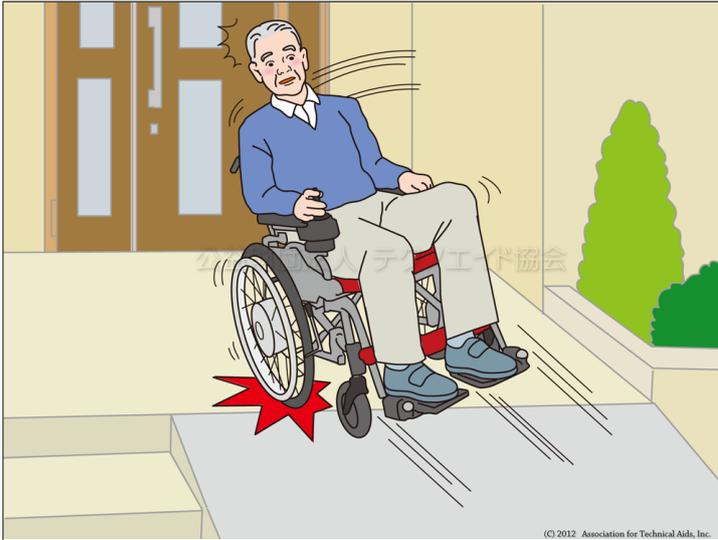


Case : 15

ゆるやかなスロープをバックで上りきったとき、後方へ転倒しそうになる

### 場面の説明

転倒防止バーを折りたたんだままバックでスロープを上ったが、上りきったところで速度のコントロールがうまくいかず後方にバランスを崩した



利用シーン	 移動  外出
主な利用場所	 階段  玄関  段差・縁石
介護保険の種目	 車いす
分類コード (CCTA95)	122127 (電動車いす)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

### 解説

方向転換するスペースがないときなど、バックでスロープを上げることもありえますが、電動車いすはスロープを上りきり、平坦面に差し掛かると急加速をする場合があります。それに驚いて制動をかけると、後方にバランスを崩しやすくなります。このような危険を回避するために転倒防止バーが装備されていますので、常に正しい位置で利用することが大切です。

### 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：転倒防止バーを収納したまま利用していた
- 人：速度のコントロールに不慣れであった
- 環境：場所が狭い
- 環境：スロープの角度が急であった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 15

ゆるやかなスロープをバックで上りきったとき、後方へ転倒しそうになる

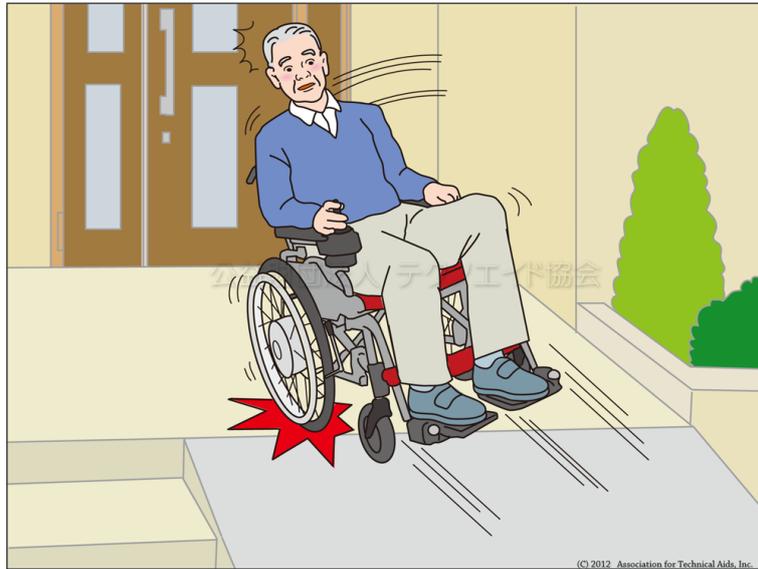
事例詳細



回答前に見ないこと

### 場面の説明

転倒防止バーを折りたたんだままバックでスロープを上ったが、上りきったところで速度のコントロールがうまくいかず後方にバランスを崩した



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ